

隨泉寺寺報

平成17年(2005年)9月号 第421号

082-892-0217 <http://tetunari@ms1.megaegg.ne.jp>

浄土真宗本願寺派 高峯山隨泉寺

秋季彼岸会法座

前々坊守 鎌田幸子 17回忌法要

講師 浄園寺住職 上園恵水師

講題 「如来にいだかれて」

『一、仰せに、ときどき懈怠することあるとき、往生すまじきかと疑ひなげくものあるべし。しかれども、もはや弥陀如来をひとたびのみまゐらせて往生決定ののちなれば、懈怠おほくなることのおさましや、かかる懈怠おほくなるものなれども、御たすけは決定なり、ありがたやありがたやとよろこぶところを、他力大行の催促なりと申すと仰せられ候ふなり。』

蓮如上人御一代記聞書

ときどき怠慢な心が出てくる時、これでは往生できないだろうと不安になって、御たすけを疑い、身を歎く事もあるだろう。しかし もはや阿弥陀様のおすくいにおまかせし、信ずる一念のところまで往生はすでに定められているので、あさましい身に気がつけば、有難うございますとお礼を申すばかりです。

9月の法座予定

- 9月11日.....掃除 中須賀・高部
- 9月14日昼席午後1時より.....秋季彼岸会法座
- 9月14日夜席午後7時半より.....出張法座 平原西集会所
- 9月15日朝席午前10時より.....主婦の集い おとし
- 9月15日昼席午後1時より.....法樹院釋幸子法尼17回忌法要
- 9月23日午後7時半より.....灯茶会
- 10月2日午後6時より.....門信徒会本部役員会



前々坊守鎌田幸子 17回忌法要

9月15日(木)午後1時~

おばあちゃんの17回忌の法要を勤めます。平成元年9月23日お彼岸の中日でした。私は倉橋島へお説教に出講していました。そのお寺は説教場で電話がありません。前日から調子が悪いと聞いていたので心配していました。早朝に近所の電話に往生された事が連絡があり、びっくりして飛んで帰りました。あれからもう17年です。ご恩を偲びながら大切に勤めさせていただきます。

主婦の集い 9月15日(木)午前10時~

主婦の集いを開催します。暑い夏も過ぎ、台風が心配な時季です。もう秋の虫の音が聞こえてきます。行事の多い月ではありますが、少し心にゆとりをもってお聴聞してみませんか。上園恵水先生のお話は解りやすく評判です。是非この機会に誘い合わせてお参り下さい。

灯茶会 9月23日午後7時半より(雨天順延)

いつまでか 涙くもらで 月はみし 秋待ちえても 秋ぞこひしき
(新古)慈円 じえん

【通釈】涙に目がくもらないで月を見たのは、いつ頃までのことだったろう。待望の秋を迎えても、さやかな月が見られるはずの、ほんとうの秋が恋しい。



秋はつるべ落としいいいます。7時過ぎまで明かったお日様も、あつという間に落ちてしまいます。気が付けば秋の夕暮れです。お盆でなくなられた方を偲ばれて、また新たに寂しい思いをされている方も多いと思います。

秋の夕暮れ 少しゆっくりと、ともし火でもながめて、人生を振り返る時間をもってみませんか?今年も、ともし火とお茶の会をいたします。

誘い合わせてご参加下さい。

御礼

永代経懇志	金	参拾萬円	二野宮アキ工殿	故	二野宮 守様	特別永代経志として
永代経懇志	金	拾萬円	若林 清 殿	故	若林 好枝様	特別永代経志として
永代経懇志	金	拾萬円	吉岡 章 殿	故	吉岡 シズ子様	特別永代経志として

御礼

特別懇志 金 拾万円 二野宮アキ工殿

御礼

門信徒会へ	金	一封	二野宮 アキ工殿	故	二野宮 守様	香典返しとして
	金	一封	吉岡 章 殿	故	吉岡シズ子様	香典返しとして

風のように・・・孫 博章 行年 22 歳

孫の博章が突然の交通事故で私たちの前からいなくなって、早、一年の月日が経とうとしています。

娘夫婦が小学 6 年生の長男と小学 6 年生の次男の年子の兄弟を連れて、隣に家を新築して帰ってきたのが 11 年前になります。

主人が亡くなって以来、一人暮らしの生活から一変して毎日がとてもにぎやかで楽しくなりました。特に長男の博章はユーモラスな明るい子で、大勢の友人を連れてきては「ばあちゃん、はらへつた、みんなに何か作ってやってちょうだい。」と毎日のように我が家に来ていました。

小さい時から音楽が好きな子で、高校のときに、私にドラムを買って欲しいと言ってきたので、娘夫婦と相談して買ってやりました。

高校を卒業した後、音楽の専門学校に行き、よく路上ライブで歌ったり、コンサートなどでドラムを演奏していました。

専門学校も卒業して、これからの人生に夢をたくさん抱き、その夢の実現に向けて毎日を精一杯生きていました。

あの日も、自分で買った赤いバイクにまたがり、結婚を約束していた彼女の家から初夏の風を身体いっぱい受け、背中にステックを背負い、ドラムの練習にと帰って来る途中のことでした。

前方不注意の乗用車と衝突して二度と目を開けることなく博章の 22 歳の人生は終わりを告げました。

孫の遺体にすがりつき、泣き崩れる母親、弟、フィアンセ・・・

「お願い、もう一度目を開けて！」

「もう一度、ドラムをたたいて！」

「ただいま - はらへつた - って帰って来て！」

私と変わってやれるものならと何度思ったことでしょう。

この苦しみは決して忘れることはできません。

家族の深い悲しみの中、唯一の安らぎは、1 歳すぎのひ孫が初参式で頂いたお念珠を手にもみじのような両手をしっかりと合わせ深くと一礼する姿を見ることがです。「誰にも言えない悲しみが本当の悲しみですよ。」と、ご住職がおっしゃいました。

たくさんの涙で悲しみを真珠のように包んでしまえたら、と、願う毎日です。

合掌

法名 釋淨博 平成十六年 6 月 22 日往生 中元 博章 の祖母 燈明田ウメノ



楽しかったずいせんじの子ども会 3 年 山下 しん 子



ぼくはずいせんじの子ども会にいて、カレーをたべたりしました・カレーはおいしかったです。

外でかみひこーきであそんでいました。だけどやねにのせてあそびました。ピンゴをしました・けしゴムがあたりました。6 年の人にけしゴムをもらいました。2 年生の人にセロハンとけしゴムをこうかんしました。でっかすぎてふでばこにはいらなかったけど、なんとか入りました。

バレエをしました。一回かって一回まけました。だけどたのしかったです。おしゃかさまのはなしもしました。ずっとむかしにいんどでうまれたそうです。あみださまのはなしもききました。しんらんさまのはなしもききました。しんらんさまは 8 0 0 年まえに生まれて 7 4 0 年前ぐらいまで生きたとききました。

らいねんもきたいです。



楽しかったずいせんじ

3 年 久保田 志帆

わたしは、きょうずいせんじへ行って楽しかったです。まえ、となりのほいく園にかよっていたので、ずいせんじの場所を知っています。ピンゴやバレエをしました。ピンゴの時 8 番が当たり、スヌーピーのけしゴムがあたりました。バレエは寺の中でやりました。バレエはむずかしかったけど楽しかったです。昼ごはんはカレーでおいしかったです。お茶を六杯のみました。ずいせんじでちょっとそとであそびました。かみしばいもありました。「はだかのおおさま」でした。ずいせんじでいろいろ勉強もしました。あそんだり勉強したりして、楽しかったです。



ずいせんじ

5 年 福井 啓介

ぼくが一番心に残ったことは、海田温泉でお風呂に入った事です。ぼくは去年も寺のおふろがとても大好きでした。おふろの中でも、でんき風呂が好きでした。でんき風呂は手だけをつけたらビリビリきて、体全体をつけたらマッサージをされているみたいで気持ちよかったです。

あとお寺で食べたごはんも、おいしかったです。一日目のごはんは、ほかほかの親子どんぶりみたいなので、とてもおいしかったです。

一日目も、二日目の料理も とてもおいしかったです。「来年も寺にとまりにいきたいです。」